

作成に際し、以下の注意事項をご確認いただきますようお願いいたします。

No.	報 告 に つ い て	補 足 事 項	備 考
1	前月実績及び翌月計画を、毎月10日までに各工区統括施工者へ提出してください。 ・ 提出フロー <div><div>各工事業者 ・ 1日～月末までの自社データの確認・収集・整理</div><div>↓ 10日までに提出</div><div>各工区統括施工者（4工区） データの確認 ・ 全業者から提出があるか ・ 計画や実績の記入もれがないか</div><div>↓ 15日までに提出</div><div>会場全体統括施工者 データの確認 ・ 全業者から提出があるか</div><div>↓ 20日までに提出</div><div>博覧会協会 提出データ等の確認・統合</div></div>	・ 各工区統括施工者からは、毎月15日までに全体統括施工者へ提出し、全体統括施工者からは毎月20日までに協会へ提出してください。 ・ 全体統括施工者から協会へは、以下のとおりメールにて提出をお願いします。 To：博覧会協会 cc：協会委託業者（一般財団法人日本気象協会） 【提出先メールアドレス】 博覧会協会：NishikawaM@expo2025.or.jp 協会委託業者：kijima@jwa.or.jp iwama.chie@jwa.or.jp kosugi.issei@jwa.or.jp iwaki.maho@jwa.or.jp	・ 報告開始時期は、着工の翌月からとなりますが、一番最初の報告時のみ、計画は翌月及び翌々月の分をご提出ください。 (例)：5月着工 ⇒ 6/10までに、5月実績＋6月計画及び7月計画を提出 ⇒次回提出時は、7/10までに6月実績＋8月計画を提出 ・ 報告内容に疑義等が生じた場合等、協会又は協会委託業者から問い合わせることがあります。
2	報告に係る質問及び回答は、原則メールにて行います。	送付先は、No.1補足事項の提出先あてにお願いします。	・ 質問及び回答の内容については、まとめた上で適宜共有します。
3	報告は、受け取りしだい集計作業に移るため、 原則、提出内容で都度確定 とします。	・ 記入漏れ等、報告済みの内容を書き換える必要が生じた場合は、 対象セルを「赤色」 にし、提出時にその旨ご連絡をお願いします。	・ 協会又は協会委託業者からの データ不備等の指摘により修正した場合も、同様に対象セルを「赤色」 にしてください。
－	全シート共通事項	補 足 事 項	備 考
4	「グレーセル」は入力不要です。		
5	シート内の行や列は、 削除しないよう お願いします。	・ 数式のエラー等、集計作業に影響が出るため、不要な行や列であっても、削除しないようお願いします。	
6	シートの保護は 解除しないよう お願いします。	・ 各シートにフィルターを設定していますので、そちらもご活用ください。	
－	「1.車両台数(建設工事)」シート	補 足 事 項	備 考
7	「 車両種別 」の記入は、「リスト」シートも参照の上、黄色セルのプルダウンリストから該当するものを選択してください。	・ プルダウンリストに同車両種別はあるが、積載量が異なる場合は、 近い積載量の車両を選択 ください。 ・ 「リスト」シートにない車両種別を使用し、プルダウンリストから選択できない場合のみ、「1.その他」シートに直接記入してください。 なお、「1.その他」シートへ記入の際は、 必ず車両種別及び車両重量を併記 してください。	・ 近い積載量車両の選択例：5tトラックを使用 ⇒ 「 トラック(6t) 」を選択 ・ 「1.その他」シートの車両種別（緑色セル）への記入例： <u>パキューム車 (10t)</u>
8	車両種別ごとに、通過ルート（北、中央、南）の台数を ルート毎に記入 してください。	・ 北ルートで高速道路を使用できない場合等は、速やかに、その旨を各工区統括施工者経由で協会までご連絡ください。	・ 北ルートは、 原則、阪神高速道路 を利用してください。
－	「2-1.建設機械関連（建設工事）」シート	補 足 事 項	備 考
9	「 建設機械 」の記入は、「リスト」シートも参照の上、黄色セルのプルダウンリストから該当するものを選択してください。	・ プルダウンリストに該当仕様がない場合は、 近い仕様の建設機械を選択 ください。 ・ 「リスト」シートにない建設機械を使用し、プルダウンリストから選択できない場合のみ、「2-1.その他」シートに直接記入してください。	近い仕様の建設機械の選択例： 10kVA発電機を使用 ⇒ 「発電機」の「15kVA」を選択
10	使用した建設機械ごとの、月あたりの稼働台数及び稼働時間を記入してください。		記入例： クレーン3台を15日稼働 ⇒ 月あたりの稼働台数 45台
11	「国交省指定対策型」は、対応規制が異なる場合は、 別行として記入 してください。	・ 対象外の場合は「－」、不明な場合は選択せずに「空白」としてください。	記入例：ラフタークレーン(16t) 騒音：超低 排ガス：3次 5台 ラフタークレーン(16t) 騒音：超低 排ガス：2次 3台
12	「稼働台数」及び「稼働時間」は、 可能な限り実働 を記入してください。	どうしても 概数しわからない場合 は、以下のとおり算出し、 対象セルを「黄色」 にしてください。 ・ 稼働台数＝現場の日当たりの滞在台数×20日 ・ 稼働時間＝稼働台数×8h※ ※ 生コン車の稼働時間 については、実働に沿った時間を乗じ、 8 hを乗じること をしないようにお願いします。	
13	建設機械の記入時の振り分けは、以下のとおりお願いします。 1.他の場所から会場内に入り込み（一般道路を走行・場内稼働なし） ⇒ 車両台数で計上 2.会場内での稼働のみ（一般道路は走行なし・場内稼働のみ） ⇒ 建設機械で計上 3.他の会場から出入りし、 同日に会場内で稼働 （一般道路を走行・場内稼働あり） ⇒ 車両台数と建設機械のいずれにも計上	・ 「3」の場合、建設機械と車両台数が 重複しますが、切り分けずに 、それぞれにおける稼働台数及び稼働時間を記入してください。 ・ ポンプ車及び生コン車 は、次のNo.13も参照してください。	記入例： ・ ラフタークレーン5台を使用し、すべて 同日 に一般道路の走行及び会場内稼働があった場合 【建設機械】 ラフタークレーン(16t) 騒音：超低 排ガス：3次 台数：5台 稼働時間：30時間 【車両台数】 ラフタークレーン(16t) 北ルート：3台、南ルート2台

14	「ポンプ車及び生コン車」は、建設機械台数と車両台数（「1.車両台数(建設工事)」シート）は必ず同数となるよう記入してください。	これは場内留置（一般道路を走らず、会場内に置いた状態で連日稼働する日）による使用がないと 考えられるためです。																						
－	「2-2.建設機械関連（建設工事）燃料別使用量」シート	補 足 事 項	備 考																					
15	「バイオ燃料」については、使用するバイオ燃料の種類及び混合比についても記入してください。		記入例： バイオ燃料（バイオエタノール、10％）																					
－	「3.廃棄物関連（建設工事）」シート	補 足 事 項	備 考																					
16	「廃棄物の項目」ごとに、発生量及びリサイクル量を記入してください。	・ 処分量は自動で入力されるため、記入不要です。																						
17	「リサイクル量」は、可能な限り処分業者との契約書等も確認の上、適正な数値を記入してください（特に、木くず、紙くず、廃プラスチック類、建設混合廃棄物）。	<div>・ リサイクル率は自動で入力されますが、木くずや紙くず等は、処分業者によりサーマルリサイクルを実施している場合がありますので、処分業者に聞き取りの上、自動入力されたリサイクル率と相違があれば修正してください。</div> <div>・ また、ヒアリングした内容とリサイクル量などが相違する場合は、ヒアリングした内容に合うよう修正ください。</div> <div>・ ガイドラインに記載している以下リサイクル率にも留意してください。</div> <div><div>C-054 参加者と請負業者は、建設リサイクル推進計画2020（令和2年9月 国土交通省）に示される以下の建設混合廃棄物に係る目標値を達成すること。</div><table><tr><th>品目</th><th>指標</th><th>2024 達成基準</th></tr><tr><td>アスファルト・コンクリート塊</td><td>再資源化率</td><td>99%以上</td></tr><tr><td>コンクリート塊</td><td>再資源化率</td><td>99%以上</td></tr><tr><td>建設発生木材</td><td>再資源化・縮減率</td><td>97%以上</td></tr><tr><td>建設汚泥</td><td>再資源化・縮減率</td><td>95%以上</td></tr><tr><td>建設混合廃棄物</td><td>排出率</td><td>3.0%以下</td></tr><tr><td>建設廃棄物全体</td><td>再資源化・縮減率</td><td>98%以上</td></tr></table></div>	品目	指標	2024 達成基準	アスファルト・コンクリート塊	再資源化率	99%以上	コンクリート塊	再資源化率	99%以上	建設発生木材	再資源化・縮減率	97%以上	建設汚泥	再資源化・縮減率	95%以上	建設混合廃棄物	排出率	3.0%以下	建設廃棄物全体	再資源化・縮減率	98%以上	・ リサイクル率の合計が目標値を下回っている場合等、協会又は協会委託業者から問い合わせることがあります。
品目	指標	2024 達成基準																						
アスファルト・コンクリート塊	再資源化率	99%以上																						
コンクリート塊	再資源化率	99%以上																						
建設発生木材	再資源化・縮減率	97%以上																						
建設汚泥	再資源化・縮減率	95%以上																						
建設混合廃棄物	排出率	3.0%以下																						
建設廃棄物全体	再資源化・縮減率	98%以上																						